

ウトナイ湖通信



No.244

2024年9月号



9月に入ると涼しい日も増え、散策が気持ちいいウトナイ湖です。秋の花のエゾリンドウに、赤とんぼでおなじみのアキアカネがとまっています。また湖ではマガンやカモの仲間などの南下も始まり、にぎやかな季節がやってきます。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

9月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

9月8日(日)10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員:10名程度
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:不要。直接当センターへ。



ボランティア体験講座～ウトナイ湖の自然を調べる仲間を募集中～

9月29日(日)9:30~12:00

前半は当センターのボランティア活動やウトナイ湖の説明、後半は屋外で自然情報収集調査を体験いただけます。ご希望の方は受講後に当センターボランティアとしてご登録していただけます。

●定員:申込先着5名程度

●対象:高校生以上

●申込:9/1(日)~9/28(土)まで、電話で当センターへ

※当センターのボランティアは本講座を受講した方のみ登録いただけます。

救護室バックヤードツアー

9月14日(土)11:00~11:40

普段一般公開をしていない傷病救護のバックヤードを当センターの獣医師がご案内します。

- 定員:申込先着10名
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:9/1(日)~9/13(金)、電話受付

野生動物に学ぶ救護セミナー

『自然観察力を養う！ 貝探しのすすめ』

9月28日(土)10:00~12:00

- 講師:(株)地域環境計画 山上 竜生 氏
- 定員:先着30名(小学生以下保護者同伴)
- 申込:9/1(日)~9/27(金)、電話受付

専門家による 『ヒグマのお話』

10月5日(土)10:00~12:00

- 講師:北海道総合研究機構 白根 ゆり 氏
- 定員:先着30名(小学生以下保護者同伴)
- 申込:9/7(土)~10/4(金)、電話受付



オオハクチョウの渡来日予想クイズ

応募用紙に記入し、9/1(日)~9/29(日)までにセンター内に設置のボックスへお入れください。渡来日を見事当てた方には野鳥グッズなどの景品を用意しています。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライング・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



センダイムシクイ

体重 9 g



診察時の様子

センダイムシクイ特有の頭部中央の線、頭中央線。



診察時の様子

原因：建物への衝突

8月 7日

市内にある建物の玄関前で飛べずにいたところを保護され、当センターへ搬入される。

到着時は意識レベルがやや低迷していたが、明らかな外傷はないことから、一過性の脳しんとうを起こしていたと推測。

3時間ほど安静状態にて経過観察。容体も安定し飛翔能力も確認した上で、同日のうちにリリース。

リリース

センダイムシクイ (スズメ目 ムシクイ科)

全長13cm。雌雄同色で、上面は黄緑褐色、下面は白っぽく、腹以下は淡い黄色味を帯びています。頭部に灰緑色の頭中央線があるのが特徴的です。枝や葉の裏などにつく昆虫やクモを主に捕食します。巣は地上のくぼみに作りますが、しばしばツツドリの托卵を受けます。

トピックス



ウトナイ湖で夏の生きものを探そう

春に実施した生きもの探しイベントの第2弾を開催しました。湿地特有の夏の花やそこに集まる昆虫を、オリジナル図鑑を使って探し、記録した図鑑を持ち帰ってもらいました。参加者からは「親子一緒に楽しめた」「また参加したい」といった声が聞かれました。



ウトナイ湖漁業体験

8月17日、ウトナイ湖にて漁業体験を開催しました。ウトナイ養殖漁業会協力のもと定置網と地引網の体験をしたあとは、クイズ大会でウトナイ湖の魚について知ってもらいました。イベント終了後には参加者から「参加して良かった」「楽しかった」といった声が聞かれました。



ボランティアコーナー

当センターのボランティア活動に積極的に参加され、ご自身でも自然観察を楽しまれている岸本さんにインタビューしました

当センターのボランティアに登録をしようと思ったきっかけを教えてください。

水鳥カウント体験講座に参加したことがきっかけです。鳥たちの渡りを眺めるのが好きで、その姿をずっとみていきたいという気持ちを持っていました。一度体験するだけのつもりでしたが、鳥たちについて初めて見聞きすることがたくさんあって嬉しく、渡り鳥への思いを一歩進めて行動に移す機会と感じて参加することになりました。

【渡り鳥に思いを馳せ】

岸本 彩子さん

当センターのボランティア活動に参加して、良かったことはありますか？

身近にオジロワシを目にすることができるなんて驚きでしたし、カモの種類の違いなど知らないことだらけ。ボランティアの先輩やレンジャーの皆さんに教えていただき毎回出会いと発見に心踊らせています。ガイド役はできませんが、イベントではもちろん日頃から私自身の発見の喜びを伝えることも普及啓発活動になるかな、とやりがいを感じています。

野鳥や自然観察の楽しさや魅力があれば教えてください。

毎月の定点観測である水鳥カウントに継続して参加して、季節の移り変わりを感じるとともに、様々な鳥たちがお互いや周辺環境と影響しあって過ごしている様子が少し感じとれるようになったようです。そうして観察の感度が上がると、身の周りでもこれまで見えていなかった鳥や植物に気がつくようになりました。新しいお気に入りが見つかり、世界が広がっていきます。



イベントの受付と景品の準備をする岸本さん

ウトナイ湖 お楽しみコーナー

【ウトナイ湖・野鳥めぐりえ】

ウトナイ湖に秋に渡ってくる
「ヒシクイ」をぬってみよう♪



9月上旬～中旬頃から見られるようになります。
「ヒシ」という植物の実を食べます。



ヒシクイ

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)



レンジャーのおすすめ自然情報



【ヒシクイ】

全長 78~89 cm。群れで行動する。嘴が黒く、先がオレンジ色なのが特徴。マガンより大きい。



【マガン】

全長約 72 cm。群れで行動する。嘴の根元が白いのが特徴。カモより少し大きい。



【ダイサギ】

全長 80~104 cm。ウトナイ湖では秋から冬まで見られることが多く、岸边で魚などを狙う。



【エゾリンドウ】

高さは 30~90 cm ほど。ウトナイ湖の秋の代表的な植物で、花が咲くと秋の訪れを感じる。

秋のウトナイ湖では、ガンたちの賑やかな声が響き渡ります。「ガハハン」と太い声がヒシクイ、「カハハン」と甲高い声がマガンです。ガンたちは、ロシア極東部での子育てを終え、冬を越すために日本にやってきます。昨年の秋の初認日(シーズン中にはじめて観察された日のこと)は、ヒシクイは9月7日、マガンは9月21日でした。さて、今年の初認日はいつになるのでしょうか。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)

自然観察路ガイドマップ【秋】

秋のお薦めポイント

ロシア極東から渡ってきたマガンやヒシクイ、ハクチョウ類、カモ類が湖で水草などを食べたり、のんびりと休息している姿を見ることができます。林の中はカラフルな木の実や紅葉で彩られ、シマリスなどが冬支度を始めています。



コハクチョウよりも首が長く、嘴基部の黄色い部分が多く先が尖っているのが特徴です。

日中、湖でのんびりしている姿を見られるのは秋だけです。